

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日 から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人いのちにやさしいまちづくりぽぽぽねっと

1 事業の成果

3年目を迎えたNPO法人いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっとは、新たに「ぽぽぽ聞き書きの会」、「ぽぽぽ保健室&ぽぽぽカフェ」、「いのちの学校」の取り組みを行って活動の幅を広げた。しかし、各部会を支えるメンバーの不足等により活動の盛り上がりや会員増へと結びつける活動ができなかった。そのため、目標会員数150名に対して41名減の109名で、予算で計上した会費収入を見込めなかった。しかし、「新しい医療のかたち賞」受賞の賞金と稚松校下からの寄付金、小松市からの業務委託の収入等により全体の運営を支えた。主な活動は次のとおりである。

- 「ぽぽぽ聞き書きの会」では、小松を拠点に活動を開始した。26年度は「聞き書きカフェ」として、初心者に対して聞き書きに興味を持ったきっかけや魅力などを中心に講義を行い、新規13名の延べ41名が受講した。講座形式が軽食を共にした和やかなカフェスタイルとしたことにより初心者には好評であった。また、当初3回シリーズの計画であったが、参加者からの要望で1回追加され、4回シリーズとなった。これは次年度への発展を感じられ大きな収穫であった。
- 「いのちのスープの会」では、食事会と他部会主催の催しへの玄米スープ供出を行った。他部会の催しに初めての参加者が多く、玄米スープを提供することで「いのちのスープの会」の意義を多くの方にお知らせできた。但し、食事会への参加者が少なくなってきた為、宣伝など活動の工夫が必要と感じた。
- 「魂のいちばんおいしいところ」では、コンサートの他、ぽぽぽ保健室と共同企画の満月シアター、特別企画の暑気払い、クリスマス会を開催した。参加者には好評であった。
- 「障がい児・者の居場所づくり事業」では、バリアフリーマップ作成の為の調査を定期的に行った。障がいのある方と一緒に回ったことで、細かなところまで配慮した調査をすることができた。調査していく中で、小松市障害者自立支援協議会や小松短期大学の学生など協力者が増え、活動の輪が広がってきたことはとてもよかった。
- 「子育て中の親子の育成事業」では、昨年に引き続き「子育て支援事業」と「自分らしい子育て継続支援事業（そらまめ教室）」を開催した。子育て支援事業は「もっと笑顔で」をテーマとし、全5回コースで実施した。また、そらまめ教室は平成27年度から小松市の要望で月2回開催することとなった。「母親同士が繋がりを持ち、子供への関わりが学べる」教室を工夫しており、安定した活動が出来ている。

- 「次世代育成事業」では金沢大学医学・看護学生によるホスピタリティを大切にする活動として、聞き書き講座の開催、女川（浅野川）をなたね油で灯す会との交流、各部会の活動への参加を通じて、地域活動について学ぶ機会をもつことができた。
- 「ぽぽぽ保健室&ぽぽぽカフェ」では、特別企画や他部会との合同で、気軽に来て頂ける楽しい企画を目指し、ぽぽぽのいえを拠点にして活動した。企画開催では参加者が物作りをしながら会話を楽しんだり、日頃の悩みの相談を受けられるようにした。一例として、ケア帽子作りでは、完成までの一連の作業をデイサービスの利用者やスタッフの家族にも取り組んで頂き、サポートしている方たちもやりがいを持って頂くことが出来た。完成したケア帽子は小松市民病院のがん患者さんにプレゼントをした。このような一連のつながった活動に発展したことは非常によかった。
- 「ぽぽぽいのちの学校」では、認知症の人を「ひとりの人」として理解し、地域で支援することをめざした「学びと交流の場」を企画し、つながりを深めていくことを目的とした。講義と座談会形式での開催により、多くの前向きな参加者と充実した交流を持つことが出来た。また、「爆笑劇団 どすこいぽぽぽ」の知名度も上がり、他の団体から依頼もあり、出向いて実施した。また、劇団への参加者も増え、よいステップアップの1年となった。
- 「こまつ福祉人材育成事業」では、小松市より委託を受けた。この企画は、介護に関わる者が地域包括ケアの担い手として基本的な知識を持って業務を行えるよう人材育成を行うものである。内容は、平成27年1月～3月の期間に4回の研修とワークショップの実施である。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	事業詳細概要
①いのちにやさしいまちづくりに関する事業	・いのちのスープの会	毎月第一土曜日他で年13回開催	しあわせのいえ(小松市)、石川県内会場	2人	39人	47	○がん患者・家族と医療保健福祉従事者の食を通じた交流
	・ぼぼぼ聞き書きの会	平成26年6月28日、8月2日、10月25日、平成27年2月14日	ぼぼぼのいえ(小松市)	2人	52人	39	○聞き書き入門と実践・私の養生訓をテーマに実施
	・魂のいちばんおいしいところ	6月7日、7月12日、8月23日、9月30日、11月11日、12月23日	ぼぼぼのいえ(小松市)他	6人	71人	59	○生と死の文化を豊かにするまちづくりのための活動
②すべての子ども・障がい者の支援に関する事業	・障がい児・者の居場所づくり事業	8/27,9/26,9/30,10/10,10/24,11/14,11/27,11/28,12/9,12/12,1/9,1/20,1/21,2/18,2/20	小松市内施設・店舗	5人	15人	400	○障がい児・者の居場所づくり事業 ・バリアフリー環境調査
	・子育て中の親子の育児支援	6月1日/7月9日/7月26日/9月10日/10月8日	松任ふるさと館(白山市)/金澤町家食ラボ(金沢市)	4人	32人	80	○子育て応援教室・相談・交流・情報発信
	・そらまめ教室	4月～3月までの月2回(第3・4木)実施、月1回の参加	ぼぼぼのいえ(小松市)	5人	136人	240	○自分らしい子育てを支援する
	・次世代育成事業	平成26年4月23日、5月27日、6月27日、7月30日、9月4日、10月2日、11月11日、11月30日平成27年1月31日、2月4日、3月15日	金沢大学保健学類他、石川県会場	10人	20人	35	○育児支援及び障がい児・者支援のための人材育成、学生ボランティアの育成
③医療保健福祉従事者と患者・家族のネットワーク推進事業	・ぼぼぼ保健室&ぼぼぼカフェ	平成26年7月8日、8月28日、9月9日、12月9日、平成27年2月10日	ぼぼぼのいえ(小松市)	8人	31人	25	○患者・家族と医療保健福祉従事者の交流、講演会、情報発信、相談
	・ぼぼぼいのちの学校	平成26年6月4日、7月15日、敬老会(9月7日)、9月25日、11月9日、12月4日、平成27年3月13日	ぼぼぼのいえ(小松市)他	6人	214人	126	○患者・家族との相談、講演会
	・こまつ福祉人材育成プログラム	平成27年2月5日/2月26日/3月14日/3月26日	小松市すこやかセンター	9人	28人	300	地域包括ケアの担い手育成研修(小松市からの業務委託)

### (2) その他の事業

特に無し